



愛知県議会議員

討議資料

岡崎市
幸田町

Vol.40
2025

そのやま康男

県政報告

ソノスイッチオン

名豊道路（23号バイパス）全線開通！

令和7年3月8日、蒲郡バイパス 豊川為当 IC～蒲郡 IC 間が開通し、国道23号・名豊道路が全面開通しました。昭和47年から始まった工事が半世紀かけてついに全面開通です。

全面開通でさらに交通が便利になり、様々な効果が予想されています。

自動車産業等のさらなる成長に役立つ道路に

経済効果は50年間で8兆円以上！（民間シンクタンク試算）

沿線地域の地価の上昇、製造業の物流に好影響、それによる雇用の創出などを含めると、経済効果は50年間で約8兆円以上とも試算されており、地域の成長に大きく役立つことが予想されています。

名古屋～豊橋間が50分短縮 名古屋にも豊橋にも行きやすくなります

名古屋～豊橋間をおよそ1時間でつなぐ道路の開通で、所要時間が約50分短縮されます。

また、ほかの一般道の慢性的な渋滞が緩和されることも予想されます。名古屋のIGアリーナのイベントなどに行きやすく、また名古屋・豊橋などからこちらにも、来てもらいやすくなりそうですね。

新鮮な農作物をさらに多く、さらに早く運ぶことができる

物流効率化で農業などにも好影響が予想されます。

今後の完全4車線化へ向けて

一部2車線区間があることで、渋滞が発生しやすい問題を解決するため、完全4車線化へ向けた道路調査が始まっています。（令和7年3月現在）



3/8 開通区間
豊川為当 IC～蒲郡 IC



災害・救急時に役立つ、緊急医療カバー圏拡大に

南海トラフ巨大地震などの災害発生時や、緊急時に緊急車両がより早く到着できるようになると予想されています。

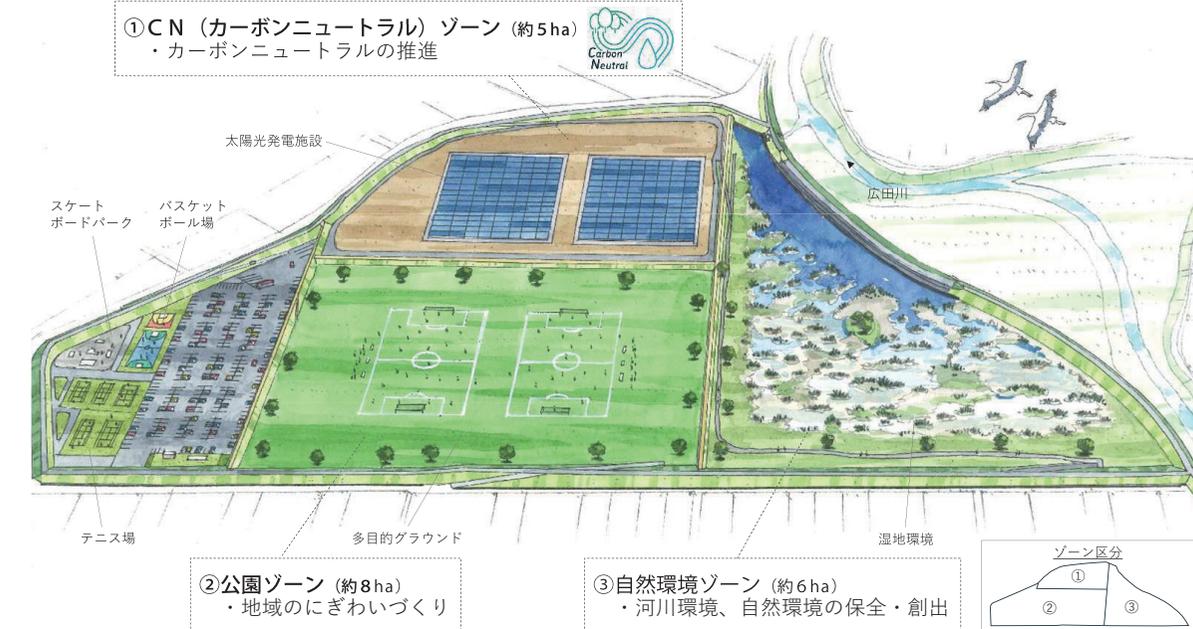


今後の要望

このように東西に走る幹線道路は整備が進んでいますが、これらをつなぐ南北の道路整備がぜい弱です。岡崎市東部にできる愛知県初の本格的アウトレットモール、「(仮称)三井アウトレットパーク岡崎」のオープンにともなって、県道473号の整備は絶対必要ですので、大切な社会基盤整備をこれからも強く要望してまいります。

菱池遊水池の有効活用～洪水時に被害を軽減、平常時には自然豊かな空間として～

幸田町で整備中の菱池遊水地は、広田川の洪水を一時的にためることで、下流への被害を軽減する施設です。2026年度の完成に向け、愛知県が整備を進めています。この度、菱池遊水地の上部空間の平常時利用について(1)CNゾーン、(2)公園ゾーン、(3)自然環境ゾーンの3つのゾーンに区分し有効活用する方針が決まりました。



①CN（カーボンニュートラル）ゾーン（約5ha）
・カーボンニュートラルの推進

②公園ゾーン（約8ha）
・地域のにぎわいづくり

③自然環境ゾーン（約6ha）
・河川環境、自然環境の保全・創出

県議会で質問しました

「生平幸田線・山中小学校北交差点の渋滞対策」の進捗と今後の取り組みについて質問しました。



建設局長の答弁（要約）

山中小学校北の交差点は**重点的に取り組むべき**と認識しております。具体的な渋滞対策としては、**右折車線を設置**するとともに、**西側の歩道を拡幅**する計画です。あわせて国道1号線の北側につきましても**右折車両の滞留スペースが確保**できるように改良を行う計画です。

進捗としては、今年度は用地測量を行いました。来年度は**用地買収に着手**してまいります。

要望（要約）

この交差点の北には一部道幅が狭い箇所があり、交差点改良後には**さらに拡幅が必要**になりますので、**引き続き、道路拡幅の取組を要望**いたします。

岡崎・幸田まちづくりシンポジウム開催します！

2025年5月10日
10:30～むらさきかん第6活動室にて、「第3回岡崎・幸田まちづくりシンポジウム」を開催いたします。

テーマは「人口減少社会に負けないまちづくり」です。

人口が減っていく時代になり、他自治体とのいわゆる自治体間競争が始まっています。ふるさと納税もその競争の一つです。人口が維持できない自治体は消滅の危機も叫ばれている昨今、人口と住民サービスを維持するには何が必要かこのシンポジウムを通して、考えてみたいと思います。

参加無料です。ぜひご参加ください。（チラシ画像はイメージです）



ソノスイッチオン **sono SWITCH ON**
そのやま康男事務所
岡崎市伝馬通5丁目68山崎工業ビル1階
電話 0564-77-3102 FAX 0564-77-3831



ぜひフォローしてください！



SNSでも随時、活動報告中！

人口減少に負けないまちづくり

選ばれるまち 岡崎・幸田



はじめに

これからの「まち」(自治体)は…
人口減少による自治体間競争の時代と言われており
 人口減少が地方自治体にとって
 大問題になってくる!

よりよいまちにするためには、
 人口を維持する=**住民に選ばれる必要がある。**

少子化
人口流出



全国の4割が
消滅可能性自治体

744自治体

愛知県では7つの自治体が該当
 ※女性の減少が50%を超える
 自治体のことを
 消滅可能性自治体と呼称。

<人口戦略会議調べ>

自治体の考える 人口流出の3大原因 (総務省調べ)

雇用機会の不足

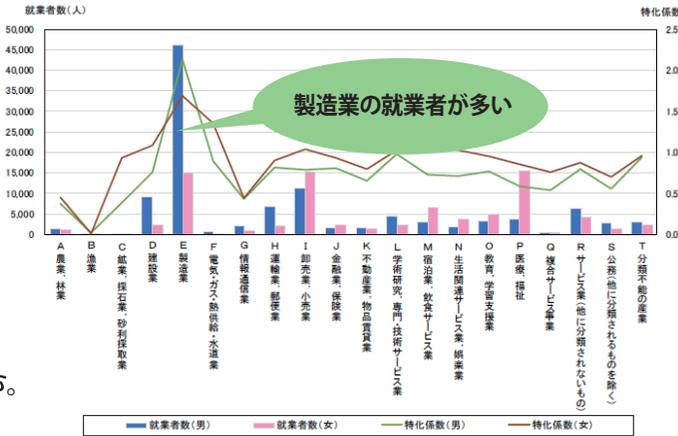
社会インフラの不足

教育機関の不足

雇用 働きたいまち

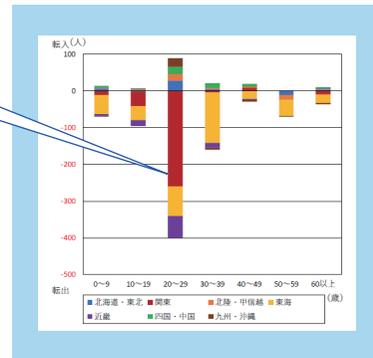


各都市の就業者数の増減と人口の増減が一致。
 つまり、人口を維持するには、まず「雇用」が大事!
 アウトレットパーク岡崎では2000人規模の雇用を見込む。
 雇用が増えるという点で、まちの発展の**大チャンス!**



岡崎市業種別就業者数

特に**女性の雇用**が地方にないことが問題…
 東京一極集中の原因に…
 名古屋、大阪でさえ、若い女性は東京に流出している



岡崎市の年代別女性の人口流入出(2022年)

岡崎・幸田は雇用の面では製造業が強く、それにともなって比較的、
 職が「ある」地域といえるが、製造業はどうしても男性の雇用が中心となる。
 女性の雇用を支えるサービス業を増やし、女性の人口流出を食い止める必要がある。
男女問わず「働きたい!」「働き続けたい!」まちづくりが必要に。

社会インフラ

(交通・商店・病院など)
 住みたいまち



鉄道:

岡崎セントラル駅構想

(愛環、JR中岡崎駅と名鉄岡崎公園前駅を合わせ総合駅に)
 総合駅화에伴う都市整備も必要に。

リニア開通で

名古屋駅⇄品川駅間が約40分に。
 新幹線は、豊橋駅⇄東京駅行の増便が予想される。

道路:

国道23号線 名豊道路開通!

南北に延びる、県道473号延伸は、絶対必要!

年間1000万人来場予定の

大型アウトレットで**大渋滞予想!**

早急に整備を進めなければ。



日本の出生数(2024年速報値)

過去最低

約72.1万人

予想より15年速いペースで減少

出生数から死亡数を差し引いた
 人口の自然減は
 89万7696人減で、18年連続の減少。
 減少幅は過去最大に。

少子化は移民受け入れ問題とも
 絡んで世界的な問題に。

岡崎市の合計特殊出生率(2022年)

1.44

(県1.35、全国1.26)

高い出生率が
 アウトレットパーク
 誘致の決め手に
 なったとも

教育・子育て環境

子育てしたいまち



学校がなくなると
 地域のコミュニティも
 弱くなってしまふ…

雇用・インフラなどを改善しても、
 子育てしづらいまちだと、ブラックホールのように
 周りのまちから、人を奪うまちになってしまう。
 良質な教育環境(子育て環境)を整備することも大切
高校授業料無償化、小中学校給食無償化などの動きがあるが、
 さらに**子育て世代への支援が必要。**
 ともに、「子育てしたい!」「また子育てしたい!」まちづくりが必要。

まとめ

現在岡崎市は2050年までに8%程度、幸田町は3%程度の人口減少が見込まれている
 全国的に見て悪い数字ではないが、油断はできない。
働きたい、住みたい、子育てしたい、の3点セットで
 全国から、県民から「選ばれる」まちになることが必要なのです!